

しあわせ福井 象徴50件発信

県は「幸福度日本一ふくい」を象徴する場所やモノなど計50件を選んだ。「福井しあわせセレクション」として県内外に発信し、定住・移住策や観光ルートへの整備などに活用していく。

27日にあった県の発表によると、大学や民間シンクタンクなどの調査で、幸福度日本一に選ばれている福井の魅力や、まずは県民に実感してもらおうと企画。幸せを感じる場所やモノ、エピソードを県民から募り、寄せられた294件（重複除く）の中から審査委員や県民の投票で50件を選んだ。

県民投票などで選ぶ

最も投票が多かったのは、鯖江市の西山公園と越前ガニ（同数）。西山公園は、園内の広場にある「結びのチャイム」を鳴らすと幸せに結ばれると言われ、越前ガニは、産地証明の黄色いタグが「幸せを呼ぶ」などとして票を集めた。

県は、選定した50件を「しあわせの聖地」（31件）「しあわせの逸品」（13件）「しあわせのエピソード」（6件）に分類し、ホームページなどでP

Rしていく。また、周遊ルートへの整備や認証制度の創設なども計画している。主な聖地は次の通り。

【縁結び】柴田神社▽レインボーライン・三方五湖
【癒やし】一乗谷朝倉氏遺跡▽越前大野城【ファミリィ】エンゼルランドふくい
▽恐竜博物館【健康長寿】気比神社▽中道院【嘆願成就】永平寺▽金刀比羅山宮。
(堀田浩一)



↑「結びのチャイム」がある西山公園（鯖江市）

↓山頂公園が「恋人の聖地」としても知られるレインボーライン（若狭町）＝いずれも県提供